

年始の市役所・施設窓口業務	2
成人を祝福するつどい	3
年始のごみ収集日程のお知らせ	3
保育園・学童保育所の申し込み	6



井の頭公園には 90年分の思い出が 詰まっています

1917(大正6)年に日本で最初の郊外公園として開園した井の頭恩賜公園は今年で90周年を迎えます。

桜、新緑、紅葉、落葉と四季折々の顔をもち、豊かな水をたたえ、木々を育みながら歴史を重ねてきました。

井の頭公園は次の100周年という大きな歴史の区切りに向けて、これからも末永く、潤いと安らぎを与える市民の憩いの場として、そして、新しい思い出づくりの場として、歩み続けていきます。



井の頭公園のあゆみ

1917年	5月	井の頭恩賜公園開園
1929年	7月	井の頭池にボート場開設
1942年	5月	井の頭自然文化園開設
1952年	11月	池畔の一本杉際に野口雨情歌謡碑建立
1953年	5月	池の中央の橋を、七井橋と命名
1954年	3月	井の頭自然文化園に象舎完成、上野動物園より象の「はな子」来る
1974年	6月	井の頭公園の西園に多目的運動広場、テニスコートを開設
1975年	5月	水生生物館開設
1988年	2月	オンドリ千羽計画に基づき放鳥
1992年	5月	井の頭自然文化園開園50周年
1993年	3月	井の頭公園連絡橋(七井橋架け替え)完成
2001年	10月	井の頭公園の西園に三鷹の森ジブリ美術館(市立アニメーション美術館)が開館
2007年	5月	井の頭公園開園90周年

新春対談 4・5面

スタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーと清原慶子市長がこれからの夢を語ります。



三鷹市には、都立井の頭恩賜公園をはじめ、国立天文台や三つのふれあいの里(大沢の里、牟礼の里、丸池の里)などの緑あふれる地域のほか、玉川上水、仙川、野川などの水辺もあります。

最近では三鷹の森ジブリ美術館が、国内外から多くの来館者を迎えています。また、山本有三記念館、太宰治や三木露風ゆかりの地域など、文学の薫りが感じられる場所も少なくありません。

昨年3月に、三鷹観光振興推進委員会が「市民が観光大使」に住んでよし、訪れてよしのまち「三鷹」という提言をしています。

「ひかり輝くまち三鷹」の魅力が、市民の皆様のご活躍によってさらに磨かれ、発信される一年でありますことを願っています。

市長コラム

「ひかり輝くまち 三鷹」の発信を

三鷹市長 清原慶子

あけましておめでとうございませう。新しい一年が始まりました。今年が皆様にとりまして、かけがえのない一年となりますようお祈りいたします。

三鷹市では、市民の皆様とさまざまな協働の取り組みを進めています。今年はいよいよ「観光協会」の設立が予定されています。観光の語源は、英語のTourismの訳として、「易経の「観国之光」(国の光を観る)から採られたと言われています。この「観」は、単に「見る」「眺める」という意味にとどまらず、「参加する」「学ぶ」などの具体的な「行動」につながるものではないかと思えます。